

『物質と記憶』を再起動する

拡張ベルクソン主義の諸展望

第9回 PBJ (Project Bergson in Japan) 国際シンポジウム 2017

第一日：10月26日（木）@法政大学（市ヶ谷キャンパス）ポアソナードタワー26階A会議室

10:00-11:40 若手研究者セミナー 原健一（北海道大学）、田村康貴（東北大学）、吉野齊志（京都大学）

13:00-15:00 セッション1 司会：藤田尚志（九州産業大学）

フレデリック・ウォルムス（パリ高等師範学校）

『物質と記憶』における生

安孫子信（法政大学）

実証的形而上学

特定質問：村松正隆（北海道大学）

15:20-17:20 セッション2 司会：安孫子信（法政大学）

ポール＝アントワヌ・ミケル（トゥールーズ大学）

ベルクソンにおける現働的なものと潜在的なもの

村上靖彦（大阪大学）

現象学をベルクソン化する

特定質問：増田靖彦（龍谷大学）

17:40-18:30 全体討議

第二日：10月27日（金）@明治大学（駿河台キャンパス）アカデミーコモン(2階) A2-3室

12:30-14:30 セッション1 司会：平井靖史（福岡大学）

谷淳（沖縄科学技術大学院大学）

脳型ロボット研究に基づく意識及び自由意志の統合的な理解

三宅陽一郎（日本デジタルゲーム学会）

遅延と迂回と多層による人工知能における意識構築

特定質問：三宅岳史（香川大学）

14:50-16:50 セッション2 司会：合田正人（明治大学）

バリー・デイントン（リバプール大学）

無時間的汎心論

平井靖史（福岡大学）

時間によっていかに心が構成されるか

特定質問：伊佐敷隆弘（日本大学）

17:10-18:00 全体討議

第三日：10月29日（日）@京都大学（吉田キャンパス）京大文学部新館第一・第二講義室

10:30-12:30 セッション 1 司会：檜垣立哉（大阪大学）

スティーヴン・D・ブラウン（レスター大学）溺死する心——現代心理学におけるベルクソンの継続的な妥当性について

杉村靖彦（京都大学） 純粹記憶の「自覚」——西田幾多郎の絶対無の哲学からの（過剰）解釈

特定質問：伊東俊彦（相模女子大学）

14:00-17:00 セッション 2 司会：杉村靖彦（京都大学）

アンヌ・ルフェーヴル（高等師範学校パリ・サクレー校）『物質と記憶』から『想像と発明』へ——シモンドンあるいはイメージのもう一つの理論

平光哲朗（神戸学院大学） extension と縮約——『物質と記憶』第四章におけるベルクソンの直観を再考する—

永野拓也（熊本高等専門学校） 関係と偶然——『物質と記憶』をめぐる「持続」解釈の試み

特定質問：谷口薫（四国大学）

17:20-18:20 全体討議